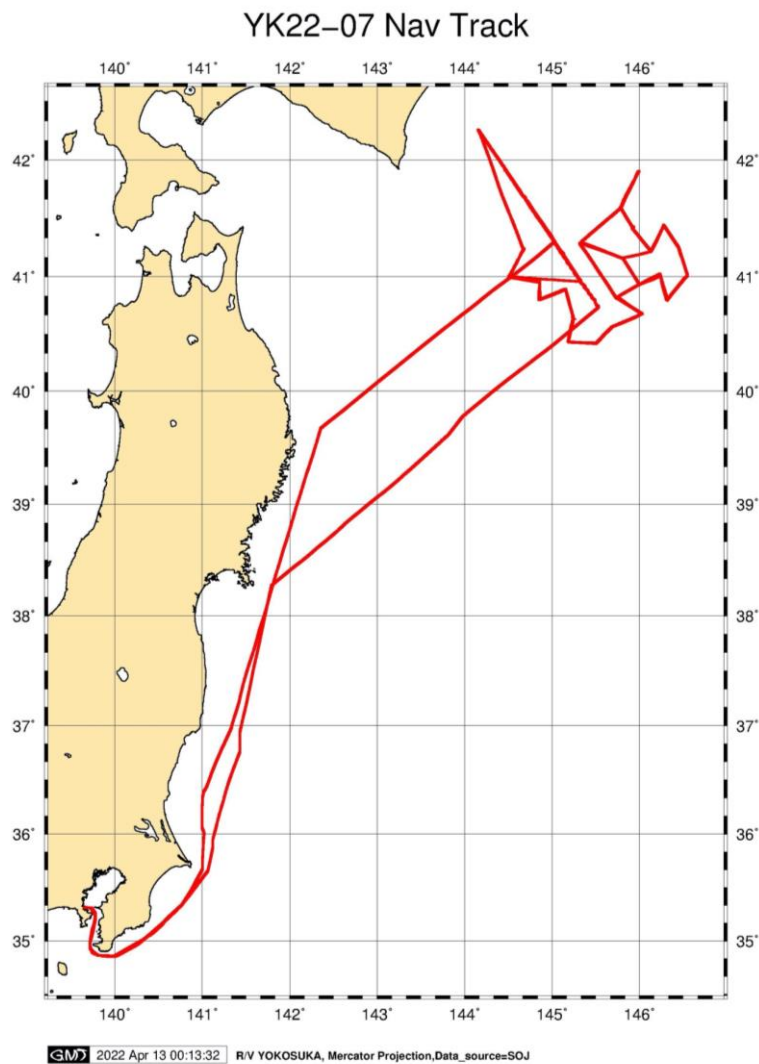


## クルーズサマリー

### 1. 航海情報

- 航海番号： YK22-07
- 船舶名：「よこすか」
- 航海名称：千島海溝域地震断層広域2次元調査と海底地震観測
- 首席研究者：尾鼻浩一郎[JAMSTEC]
- 課題代表研究者：三浦誠一[JAMSTEC]
- 研究課題名：  
海底震源断層の高精度広域調査：地震探査および地殻活動観測
- 航海期間：  
令和4年4月3日(日)～令和4年4月13日(水)
- 出港地～寄港地～帰港地：  
日産6号岸壁～JAMSTEC横須賀
- 調査海域名：千島海溝
- 調査マップ：



## 2. 実施内容

### ● 調査概要：

本航海は、海洋研究開発機構の中長期計画（3）海域で発生する地震及び火山活動に関する研究開発の（1）サブ課題「海域観測による地震発生帯の実態把握」実施のための部署目標（1）I.-②「巨大地震・津波の発生源として緊急性や重要性が高い海域を中心に三次元地殻構造や地殻活動、断層物性、地震活動履歴等に係る調査を実施する」の実現のため、部署実施計画に定めた「I 南海トラフ等における詳細な構造探査及び海底地震観測や、これまでデータが不足していた千島海溝・日本海溝等における広域構造及び地殻活動の調査」の一環としての調査である。本航海では以下の項目を実施した。

#### (1) OBS の設置作業：

千島海溝を横切る地震探査測線 KT093 上に 78 台の OBS を設置するとともに、千島海溝から日本海溝北部のアウターライズ域に 24 台の OBS を設置し、着底位置を SSBL により測定した。本航海で設置する OBS は KM22-07 航海(2022 年 5 月、6 月)で回収される予定である。

#### (3) XBT/XCTD 観測：

調査海域において、XCTD 計測を 3 点で実施した。

#### (2) 海底地形・地磁気観測：

調査海域において、マルチビーム測深機による海底地形データを取得する。また、航海中は地磁気データを取得した。